

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



陶芸活動 (県東ライフサポートセンター)

特集
きょうされん全国大会を

終えて・・・

No.295



～ 目 次 ～

- ① 特集…………… 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ…………… 4 P
- ③ けやき作業所のページ…………… 5 P
- ④ 県東ライフサポートセンター、
第2 けやき作業所のページ…………… 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ…………… 7 P

きょうされん全国大会を

終えて……

きょうされん第二八回

全国大会 in とちぎ

きょうされん第二八回全国大会 in とちぎが、無事終了しました。協力・応援いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。この大会は、障害者自立支援法に対する全国的な大運動のうねりの中準備を進めました。

大変な仕事ではありませんでしたが、この経験を今後の自立支援法をはじめ、所得保障、障害者医療費助成制度の拡充など、障害者施策の改善を求める運動に生かしていきたいと思えます。

さて今号の特集は、その全国大会の準備で中心的な役割をもたれた方たちの大会を終えての声をいただきました。

自分が生きている間に、栃木で大会を開催できるのは初めて最後のチャンス、との個人的な思いも含めて、この大会に取り組みました。担当部署は、総務です。

大会事務局長の意向を受けて、大会全体がスムーズに進むための重要な役割であることを自覚していました。実際には、皆さんにご迷惑をかけました。

それでも、大会の要となる実行委員会には、県内の福祉・医療の分野で常にリーダーとして活躍されている方々が、小さな栃木支部のために親身になって、本当にご尽力くださいました。感謝、感謝です。そしてこぶしの会のこれまでの三〇年の積み重ねが大会を支える大きな力になっていることも実感させられました。大会で築い

たネットワークを、栃木県の障害福祉を推進する力に高めていくことがこれからの役割であると思っています。こぶし作業所の利用者、家族、後援会、職員のみなさん、ご協力ありがとうございました。

総務部 田澤 幸子

全国大会の組織・運動部は、こぶしの会やきょうされんへの理解を深め、物心の協力を広げる取り組みでした。それは、こぶしの会の伝統である後援会活動そのものです。「なぜきょうされんの全国大会は膨大な団体・企業、個人の協力をもらいながら開催するのか。他の団体の研修とどこが違うのか。」を障害者が置かれている現状をできるだけ多くの人々に知ってもらいながら、障害ある人々の願

いを実現するため知恵とお金を含めた力を必要としています。それは、こぶしと同じ活動をきょうされん加盟の会員が、全国津々浦々三〇年近く営々と取り組んできた運動の一環です。

とちぎ大会は一番矛盾の大きい無認可作業所が先陣を切って頑張りました。こぶしの会も全施設とも目標を超過達成し、取り組みを広げました。また、こぶしの会と関わりの深い団体や個人が実行委員会に加わり、力を発揮していただきました。こうしたみんなで勝ち取った成果を、こぶしや障害ある人々の未来に生かしていくこれからが大切です。

組織・運動部 高橋 温美

大会企画部としての取り組みは、

二月のプレ企画から始まり、プレ企画は、大会会場と同じ宇都宮大学で三〇〇人の参加を得て成功させることができました。そして九月の大会に向けては、オーピングセレモニー・ミニフォーラム・交流会・観光など現地企画についてでは案を作ることから始まり、記念講演・スペシャル企画・分科会など全国の企画については本部との連絡調整を取りながら進めていきました。

部員は大会間近になって三〇名になり、そのほとんどが、会員の施設および作業所の職員でした。企画の中心的課題は、大会テーマ「信じよう一人ひとりの力 集めようみんなの願い つくろう夢ある社会を」に添って、どう具体的なものにし、全国からの参加者が「栃木大会に参加してよかった!」との感想をもって帰っていただけるものができるかというものでした。振り返れば、反省すべきこともたくさんありましたが、この栃木で、この激動のこの時に、全国大会の取り組みに参加できたことを喜び、感動を味わうことができた大会でもありました。

企画部 鈴木 順子

運営部は、昨年のクリスマスの日には第一回会合をもち、部全大会を二回開催しました。各部署ごとの具体化のための会議や実務を連日のように行っていました。

部内の役割分担として①ボランティア要員・障害者サポート、②受付・クローク・弁当、③交通、④会場準備・会場案内、⑤自主製品販売、⑥警備、⑦救護を設けました。これらの担当は、ボランティアの募集をはじめに、きょうされん運動・障害者問題への啓蒙活動の役割を担いながら、大会運営に必要な人材や備品の確保、主催者として必要な関係機関との交渉や具体的な手立てを講じてきました。

大会全体像の具体化が遅れる中で、準備であったために、企画内容が最終決定されるまでに、計画準備を進めざるを得ない場面も少なくなく、大会準備上不備な点や問題点も多々発生し、実践との両立にも苦慮しました。

しかし、各担当者が、障害をもつ仲間を目の前にしているからこそ、この大会を通じて、障害者福祉への関心を高めてもらいたいと思ひ、きょうされん活動を含む、地域社会で障害者福祉の協力者・理解者を増やし、広くアピールしていく

場をつくりあげる責任を運営部として最後まで連帯し、それぞれの役割を遂行することを貫きました。

大会運営部 小幡 恭弘

「三年前に栃木で大会を開催しよう!」と決めてからあつという間に大会が終わってしまったような気がします。

当初は漠然とした大会イメージを持っていただけに過ぎず、長野大会・和歌山大会を経験した各支部の方々から意見をいただき平成一六年一月に臨時総会を開催、承認を得て実行委員会設立に向けて活動がスタートしました。

平成一六年五月開催のきょうされん第二七回全国大会(兵庫)の実行委員会にオブザーバー出席し、大会には栃木支部から一〇〇名を超える人数が参加、引継ぎセレモニーにて参加者全員が栃木大会成功に向けて誓いあいました。

平成一六年九月には、セルプ・みらいの駐車場の一角に大会事務局のプレハブ完成、大会事務局長がひとり黙々と準備を進めていました。

そんな中、当初から課題だった専従事務局員を募集。その結果、なすびの里デイサービス利用者の

保護者である私が採用となり一月から事務局にきました。

事務局二人体制となり事務所も本格手動。しかし、準備を進めるなかで多様な問題が生じました。

大会テーマ・大会開催の目的や意義をプログラムにどのように反映するか企画が迷い悩んで遅れば運営できず進まない部分も多い。このような調整を十分に行い、もっと積極的に指導・方針を出さなければと思うだけでパソコンでの資料作りだけで終わってしまった感じの事務局。

しかし、大会は確実に近づいて来る。作成しなければならぬ資料・連日深夜までの打ち合わせなどバタバタしているうちに大会前日を迎え、ひと息ついたら終わっていたなあ、というのが正直な感想です。

これから、大会を振り返ってみて、本当に成功だったかどうかかわかってくることでしょう。

実行委員・職員・利用者・ボランティアの力が結集してこの大きな大会を成し遂げることができました。皆様、ありがとうございます。

大会専従事務局員 三室 優

こぶし作業所ニュース

きょうとさん大会に参加して

地元で行われる大会ということで、こぶしもたくさんの方々が参加しました。オープニングでは、なかまが舞台上立ち「明日の空へ」を振りつきで歌いました。実は振り付けを見たのはその日が初めてで、他の人の振りを見ながら踊ったので、上手く踊れず不本意だったようです。しかし、最後の「フアイト!!」のところはこぶしですと練習していたので、ばっちりでした。舞台から降りてきたなかまの表情は、とても満足気で笑みがこぼれていました。

また、落合恵子さんに花束を渡すという大役を任された鶴野さん、斎藤さんは、舞台の袖で大変緊張した様子でしたが、立派にその大役を果たしてくれました。

二三日の夕方から行われた大交流会では、顔見知りの作業所メンバーで盛り上がりすぎてしまい、他県から来た方たちと上手く交流できなかったとの声もありましたが、タバコを吸うなかまは、喫煙所に集まる方と「どこから来たの？」など言葉を交わし、交流を深めていました。形は違いますが、その人なりの交流ができていたのではないかと思えます。

この二日間は全国各地から大勢の人たちが来て、色々なイベントが行われたので、さすがになかまも疲れたようですが、それでもやっぱり「たのしかった!!」という声が一番に出てきて、なかまにも職員にも自然と笑みがこぼれていました。



なかまの声

(ある日の出来事)

《ボーナスが出たある日、職員とグループホームで暮らす利用者との間で、こんな会話がありました》

職員：ボーナスが出たんじゃ、焼肉でもたくさん食べたら？

職員2：お寿司かぁ?! 特上のお寿司でも取って、世話人さんにごちそうしよう!!

利用者：ダメです。せっかく、やっともらったボーナスなんだからぁ。



児童短期入所事業

今年の夏休みより、市立今泉小学校1年生の森由貴さんが利用を始めました。

お母さんよりこぶし作業所を選んだ理由・利用してからの変化・これからのことをお聞きしました。

- Q. 由貴さんをこぶしにお願いしようと思った理由は何ですか？
- A. 短期入所できる施設で、こぶしが近いこと。由貴は人が大勢いる場所が苦手なので、こぶしだと落ち着いて過ごせそうだった。
- Q. 実際こぶしを利用して、由貴さんに変化は現れましたか？
- A. クッキー作業班での活動を楽しみにしていて、家に帰ると食事の準備を時々手伝うようになった。
- Q. 由貴さんへ利用するに当たっての希望はありますか？
- A. 共働きが理由で利用しているが、由貴がたくさんの人と関わって身内以外の人とコミュニケーションがとれるようになってくれればいいなと思っている。そして、社会生活していく上でのルールが身につけばと思っています。

けやき作業所

全国大会に参加した 仲間の一言

ITカーニバルの開催の機会
 地域とつながりをもつことが
 できたことに感謝
 大塚の開催を助けたことに
 感謝
 全国大会
 参加したことが
 大変
 楽しかった
 仲間との交流が
 できたことに
 感謝

作業所自慢—友愛作業所の
 フッキーつくりやーシヤツ
 などを作って販売して
 お金を稼ぎ給料にしようと
 張り切っている姿が印象的
 でした

作業所自慢—友愛作業所の
 フッキーつくりやーシヤツ
 などを作って販売して
 お金を稼ぎ給料にしようと
 張り切っている姿が印象的
 でした



友愛作業所の人が
 全国大会に参加
 したことが
 大変
 楽しかった
 仲間との交流が
 できたことに
 感謝

加藤の国産の喜び

国産の製品は
 安心
 安全
 国産の製品は
 安心
 安全
 国産の製品は
 安心
 安全

弁当班からの意見

弁当班の意見
 国産の製品は
 安心
 安全
 国産の製品は
 安心
 安全



今月のトピックス

10月1、2日にみんなでIT講習会に参加しました。
 仲間に関わりやすく、楽しく指導していただき、充実
 した2日間でパソコンを学んできました。



スポーツの秋ということで10月
 8日に障害者スポーツ大会・10月
 22日にふれあい運動会に参加しま
 した。みんな走ったり、はねたりい
 っぱい楽しんできました。中には、1
 位になった方もいて意外な一面を見
 ることも出来ました。



県東ライフサポートセンター

e-mail elsc.13.10.1@guitar.ocn.ne.jp

陶芸○○○

なんとなくやってみました



9月17日(土)芳賀町生涯学習センターで陶芸を行いました。講師には真岡市在住の土田浩二氏をお招きし、初心者から若干の経験者まで総勢21名が手びねりやろくろで自由にお皿・コップ・置物・灰皿などを作りました。

この陶芸活動は毎月1回行う予定です。開催日は機関紙「ほっとCHA」で確認して下さい。



きょうされん全国大会より

～舞台裏の風景～

今月のイベント

— サポセン日記 第5巻 —

昔から本が好きです。最近読んだ本の中では『スタンドバイミー』が良かったです。また、中学卒業時に読んだ『人器以上』と『この人を見よ』という本も印象深く心に残っています。普段、テレビはあまり観ませんが、本はこれからもたくさん読んでいきたいと思えます。(メンバーより)

サポートNEWS

全国精神障害者社会復帰施設協会より発行のコミュニティマガジン『EN』にサポートセンターの紹介記事が掲載されました。「施設じまん」というコーナーで、A4サイズで1ページ分です。サポートセンターに掲示してありますので是非見てください。(W)

「障害者自立支援法」に 利用者から一言

- 応益負担反対！もっと利用者の身になって考える、絶対応能負担にしろ、公費負担金5%もそのままで。
- 作業所を利用するのにお金を払うことは考えられない。お金がないから払えません。
- お金もなく生活が苦しくなるから大変です。
- 憲法25条で「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と定めてあり、今回の障害者自立支援法は憲法の定める「最低限度の生活」を脅かすものであり憲法違反だと思えます。私が思うに、政治は社会的弱者のためにこそ存在するものであり、そうでなければ弱肉強食の獣の世界になってしまいます。
- 家庭問題が色々あって私は家に居るのが嫌になります。作業所の利用料が払えず、行き場を失ってしまう。
- 公費負担金5%はそのままにして下さい。作業所で1日5時間(500円)にしかありません。食事代で300円なくなるので生活が苦しいです。もう少し最低限度の生活が良くなるようにお願いします。

第2けやき作業所

Dai2-Keyaki

きょうされん緊急行動提起 ～2週間行動～

「障害者自立支援法案」衆議院審議に向けての行動提起として10月18日から約2週間すべての衆議院議員を訪問し、要請行動を実施。第2けやき作業所からは10月28日に統一要望書とともに、第2メンバーの声を訴えました！(左記)

しかし！10月31日の衆議院本会議において障害者自立支援法が可決され成立するという結果となり、憤りに押しつぶされる思いです。なぜなのか、どうしてなのかを問わずにはいられない…。このまま障害者自立支援法に縛られる日々が待ち受けるだけなのか…。

しかし！！2週間行動を通して、同じ思いでいる仲間同士が結果はどうであれやれることをやろうとし、実践した「力」は確かなものだと思う、そう実感することができた。

やれることをやろうとし実践した「力」を信じて、この「力」を育みつつ、ここから少しでも道を切り開いていけたらと思う。

どうか幸あれ！

衆議院第一議員会館にて：第2けやき代表参加Mさん



みらいニュース



岸さん、優人くんのツーショット
みらいの会会長の岸さんと優人くんのツーショット。全国大会ではこういったボランティアのお力があったからこそ成功することができました。本当にありがとうございました。



全国大会に参加した仲間の感想

大交流会が楽しかったです。 並木 賢二
講演会では元文化放送アナウンサーで作家の落合恵子さんの「人生は勝ち組も負け組もある」を聞きました。私も集中してやりたいことに挑戦し続けようと心に誓いました。 小坂 英子

大交流会はお腹いっぱいになりました。矢口さんがでていた劇がよかった。太鼓がすごい迫力だった。かっこいいと思った。 矢田 佳紀

笑顔いっぱいの
大会でした



きょうされん全国大会に参加して

「信じよう ひとりひとりの力 集めようみんなの願い つくろう夢ある社会を！」を掲げ、きょうされん第28回全国大会inとちぎが開催されました。

全国各地から障害のある人や家族、職員、関係者など2,000人余が集いました。セルプ・みらいからは利用者、家族24名、職員10名、ボランティア4名が参加しました。そして全国から来る参加者の方との交流を楽しみに、期待と希望と少しの緊張を抱え大会を迎えました。

ミュージカル仕立てのオープニングセレモニー、落合恵子さんの記念講演。そしてスペシャル企画「利用者フォーラム」では参加者自らの主張に耳を傾け、俣川涼平さんが「私たちの未来宣言」を堂々と読み上げ会場全体の感動を呼びました。ミニフォーラムaでは音楽を楽しみ、ミニフォーラムbではハガキ、石、木片にピカソなみのアートを作り上げていました。

2日目は分科会と観光にそれぞれ参加しました。職員は要員として大会を支える役割を果たしました。最後に大会を支えて下さいました多くの方々から感謝を申し上げます。

利用者フォーラムの感想

○僕はこの大会のまえに利用者の代表でこのフォーラムの最後にある文をよんでくださいとおねがいされました。僕は少ししまじましたが、やりますといいました。しかしその文は当日までわたされず、いったばつ本番でたのおとわれました。僕はとても不安になりました。そしていよいよその時がきました。しかし自分はいろんな大ぶたいに立っているんだ、と過去を思い出してがんばるぞと心の中にいきかせました。はっぴょうは、ぶじせいこうしました。とてもよかったです。 俣川 涼平

○利用者フォーラムに仲間がたくさん来てくれたのでうれしかったし、きんちょうした。 那花 峰子

○いろいろな話が聞けたので、それがとてもよかったです。 藤澤 由紀



舞台上で緊張する俣川君

ミニフォーラムa

（カラフル！ハワフル！ミュージック！！）

導入は、クラシックからでした。栃木県交響楽団有志の方たちによる重厚な弦楽四重奏は格調高く、それまでざわざわしていた会場が一瞬にして静まり返り、参加者は美しい音色にうつとりしていました。次は、宇都宮センター合唱団によるコーラスでした。親しみのある曲ばかりで、合唱団の方たちのリードでいっしょに歌い、会場は大いに盛り上がりました。最後は、岡倉ゆかりさんによるコンサートでした。岡倉さんのパワー溢れる歌や演奏にぐいぐい引き込まれ、参加者もいっしょに太鼓を叩いたり、マラカスを振ったり、踊ったり、まさに参加者が主役のコンサートになりました。ミニフォーラムaは、多種多様な音楽があつて「カラフル！ハワフル！ミュージック！」の名の通りでした。



ミニフォーラムaの様子

僕たちのこと
 もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
 028-687-1040






こぶし作業所・後援会
ボランティア大募集!

1. 日常の利用者の作業補助
2. キッチン・セルフ (軽食喫茶店) の作業補助
3. フリーマーケットの準備・参加 (毎月第4日曜日)

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所
 ☎028 (662) 1911

休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなとってよいところですよ!

☆第2けやき作業所
 ☆県東ライフサポートセンター



セルフ・みらい
ボランティアさん募集!!

- 箱折り
- フールの取り糸且み (※1-3火曜日AM中)

※詳しくは、セルフ・みらいまで...
 ☎0285-81-1155



発行所

郵便番号 257-0073

東京都世田谷区砧六-二六-二一
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
- 生活支援センター TEL 028 (613) 5703
 E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内
 TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
 TEL 028 (667) 5531
- く る み ☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町2867-3
 TEL 028 (664) 0414
- けやき作業所 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
 TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
 TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
 TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

定価五〇円